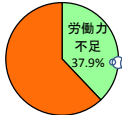


提言6 担い手の経営発展に必要な労働力の確保について

現状と課題

【高知県における労働力不足の実態】

調査対象 340戸
(H27 高知県)

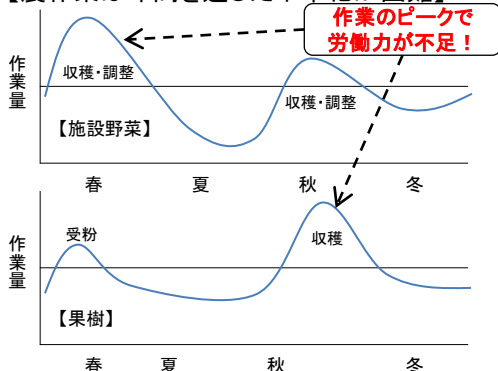


約4割の農業者が労働力不足と回答！

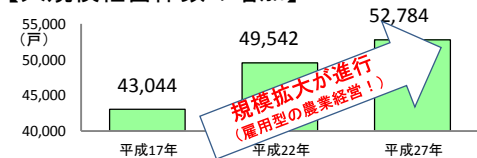
＜不足している主な品目と時期(調査結果より)＞

春	夏	秋	冬	周年
ナス・シトウ等 117人(3ヶ月間) フンタン 54人(7日間)	ナス 50人(10日間)	ショウガ 87人(25日間) フンタン 76人(15日間)	-	ニラ 60人

【農作業は年間を通じた平準化が困難】



【大規模経営体数の増加】



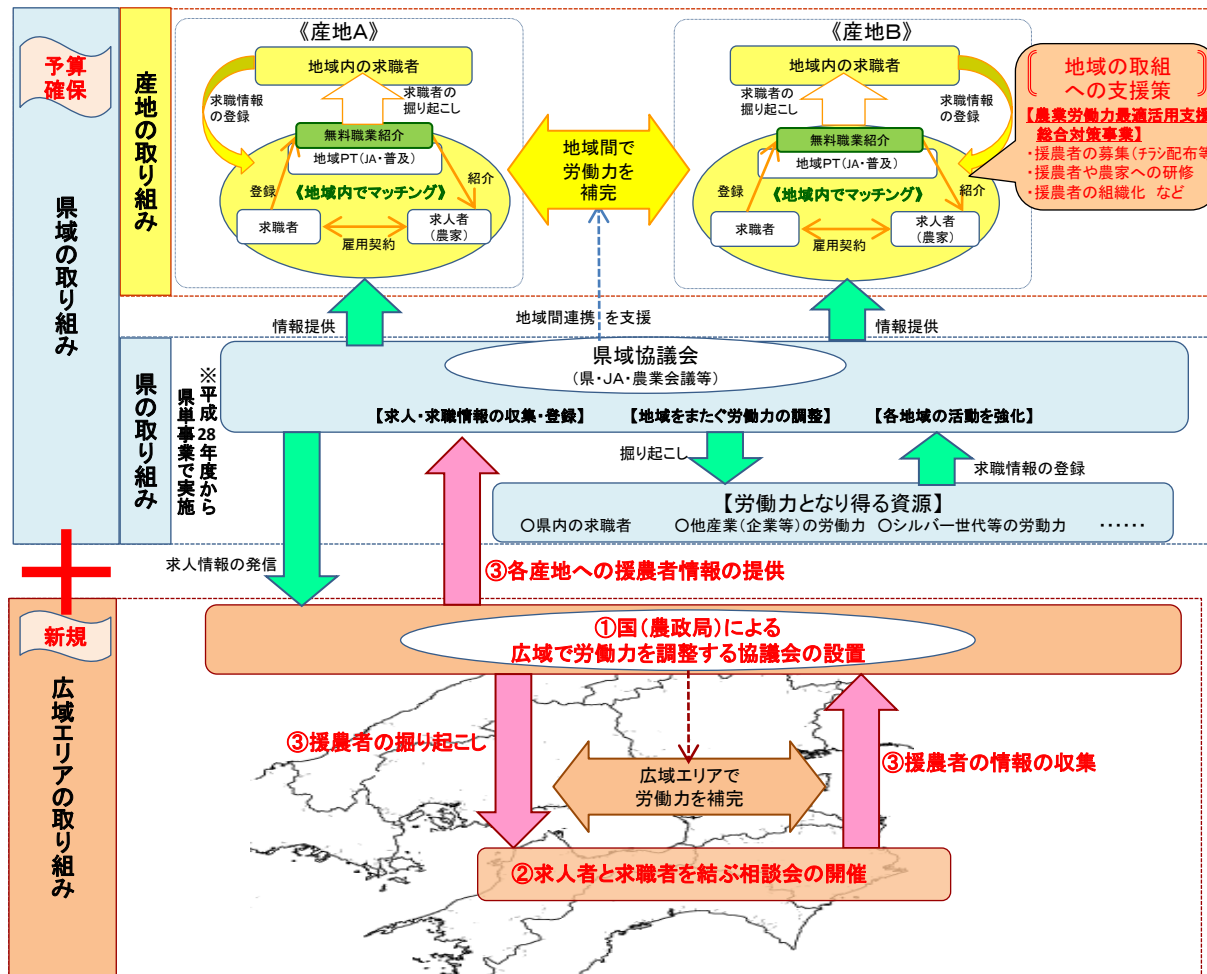
農業分野での労働力不足が深刻化！

このままだと

- ◆ 農業者の経営発展が停滞 (農業クラスターの形成がスピードダウン)
- ◆ 農業の国際競争力が低下

産地や県域を跨いだ労働力補完の仕組みづくりが必要

県域・広域エリアで労働力を調整する仕組みの構築



地域の取組への支援策

【農業労働力最適活用支援総合対策事業】

- ・ 援農者の募集(チラシ配布等)
- ・ 援農者や農家への研修
- ・ 援農者の組織化 など

県域での取り組み+広域エリアでの調整⇒必要な労働力を確保！！

提言

◆ 県域での労働力確保の取り組みを支援するとともに、県域を越えた労働力確保対策を実施することを提言します。